



### 青い目の人形と平和を願う

浜岡北小学校の3年生24人が4月17日、市の指定文化財である青い目の人形「マーベル・ワレン」を題材にした道徳の授業を実施しました。

人形は、昭和2年に日米友好の証として寄贈されたもの。戦時中、当時の用務員の機転で戦火を免れました。山下莉愛さん(新野西)は「何があってもワレンちゃんを守っていきたい」と真剣な表情で話しました。

◀ 思いをめぐらせながらワレンちゃんを見つめる児童



### 浜中で地域担任の活動開始

浜岡中学校で、同校が委嘱する「地域担任」に生徒を1年間見守ってもらう取り組みが4月21日から始まりました。

この取り組みは市内の経営者や御前崎ライオンズクラブ会員の地域担任が5~6人ずつの生徒を受け持ち、授業参観や面談をするというもの。生徒は地域担任と自己紹介カードを用いて交流しました。

◀ 生徒の自己紹介カードには趣味や特技などが記載されている



### 園児が元気に火の用心誓う

おまえぎきども園幼年消防クラブの結成式が4月25日、市消防本部で執り行われました。

幼年消防クラブは市内9園で結成され、正しい火の取り扱いについて学び、安全・安心で快適に暮らせるまちを目指します。森山剛消防次長は「火事が起きたときは『押さない、走らない、喋らない、戻らない』で自分の命を守って」と話しました。

◀ 同園の年長児24人は「火遊びをしません」と約束しました



### 海の安全見守り続ける灯台

御前崎灯台を守る会による「御前崎灯台まつり」が5月3日から5日にかけて、同灯台前広場で開催されました。

広場では、プラスアルファによるドリル演奏や鯉のぼりのお腹くぐりなどのイベントが開かれ、たくさんの来場者でにぎわいました。隣接する資料館では、同会の会員が灯台に関する資料を展示し、灯台の歴史や魅力を伝えました。

◀ 来年で初点灯から150周年を迎える御前崎灯台



### ウミガメの保護活動を周知

「カレッタギャラリーおまえぎき2023」が4月18日から5月9日にかけて、市立図書館アスパルで開催されました。

国指定天然記念物のアカウミガメとその保護活動の周知が目的。ウミガメ保護監視員の活動写真のほか、子ガメを飼育している御前崎小学校児童のレポートなどが展示されました。来場者は「保護のためにさまざまな活動をしていることを知った」と話しました。

◀ ウミガメの保護活動写真を真剣に見つめる来場者



### 愛犬と共に海をピクニック

市商工会が主催する「御前崎シーサイドピクニック」が4月22日から23日にかけて、マリパーク御前崎で開催されました。

同イベントは、愛犬家が犬の散歩をしながら、買い物や飲食を楽しめるよう企画されたもの。来場者は「心地よい天気の中、愛犬と参加できてうれしい」と話し、愛犬と楽しい時間を過ごしました。

◀ 愛犬との買い物を楽しむ来場者



### 御前崎のまちづくりに貢献

旧御前崎町収入役の高塚廣美さん(白浜区)が4月25日、瑞宝双光章の受章を柳澤市長に報告しました。

廣美さんは、旧御前崎町の職員として31年間、収入役として8年間、豊富な経験と卓越した識見で町政の発展に貢献してきました。廣美さんは「受章はまちのみなさん、職場の先輩や同僚のおかげです」と明るい声で話しました。

◀ 柳澤市長は「まちづくりへの貢献を感謝する」と話しました



### ふ化しなかった子ガメ供養

子ガメ供養祭が5月11日、下岬区のアカウミガメふ化場で執り行われました。

同供養祭は、前年度にふ化できなかった子ガメを弔うために毎年実施されています。18年間、ウミガメ保護監視員として活動する良知正美代表(塩原)は、「上陸・産卵数は近年減少傾向にある。今年はたくさんの卵を産卵してほしい」と話しました。

◀ 保護監視員らは、子亀塚に線香を手向け、冥福を祈りました